

中学校保健体育科採点基準

5枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
1 ①	(ア)	運動の特性に応じた技能		各3×3
	(イ)	他者に伝える力		
	(ウ)	運動に親しむ		
2 ②	(2) 個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	6 24
1 ①	(ア)	48		各3×3
	(イ)	7		
	(ウ)	3		
2 ②	見ること	テレビなどのメディアや競技場等での観戦を通して一体感を味わったり、研ぎ澄まされた質の高い動きに感动したりすること。		各4×3
	支えること	運動の学習で仲間の学習を支援したり、大会や競技会の企画をしたりすること。		
	知ること	運動やスポーツの歴史や記録などを書物やインターネットなどを通して調べること。		
2 ②	・仲間 ・空間 ・時間		順序は問わない。 全部合っているものだけを正答とする。	5 29
3	第3期スポーツ基本計画			4
4	体への効果	・身体の発達やその機能、体力や運動の技能を維持、向上させる。		各4×2
	心への効果	・達成感を得たり、自己の能力に対する自信をもつたりすることができる。 ・ストレスを解消したりリラックスしたりすることができる。		

中学校保健体育科採点基準

5枚のうち2

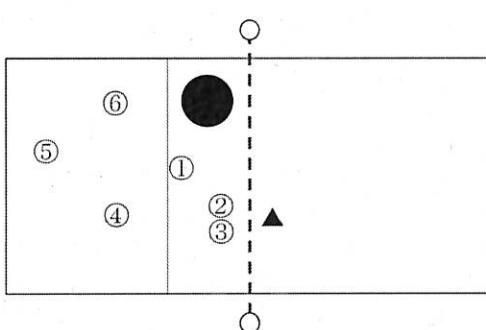
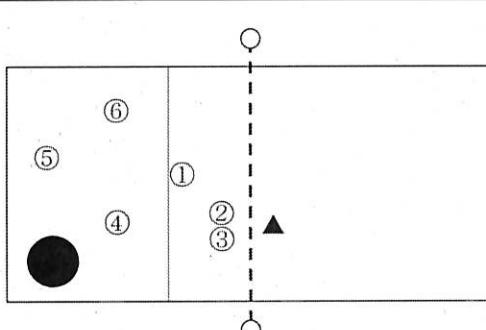
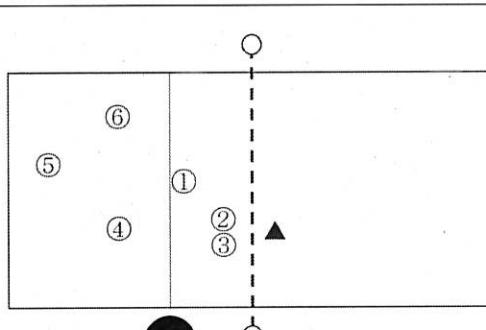
【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]			採 点 上 の 注 意	配 点
1	・「鉄棒運動」 ・「平均台運動」 ・「跳び箱運動」			順序は問わない。 全部合っているものだけを正答とする。	4
2	ほん転技群				4
3	図 1	伸膝後転			各 4 × 2
	図 2	Y字バランス			
3	技術的な要因	①倒立から前転するとき、体の力を抜いてしまう。 ②腰と膝の曲がりが早い。		1つ書かれていればよい。 技術的な要因と練習が対応しているものだけを正答とする。	2 6
4	練習	①三点倒立により、頭頂・額及び両手で体を支持する感覚を身に付けさせ、回転を始める際に、腰角を広く保ったまま回転する練習をさせる。 ②背支持倒立の姿勢で腰と膝を伸ばす感覚を身に付けさせ、補助倒立から前転の練習をさせる。		問い合わせを正しく捉えていれば、内容は異なっていてもよい。	1 0
	(1)	走る距離は、1,000~3,000m程度を目安とするが、生徒の体力や技能の程度や気候等の状況に応じて弾力的に扱うようにする。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	6
1	(2)	身長や速度と比較して、小さい歩幅で足の回転を速くする走法。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	4
4	(1)	・踏み切りでは、上体を起こしてキックすること。 ・踏み切りでは、地面を踏みつけるようにキックすること。 ・踏み切りでは、振り上げ脚を素早く引き上げること。		2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各 4 × 2
	(2)	踏み切った後に空中で体全体を反らせた状態になり、その後、両腕を下ろしながら両足を前方に出して着地する跳び方のこと。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	

中学校保健体育科採点基準

5枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
1	(a)	3秒より長くボールを保持する。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各 3 × 3
	(b)	ボールを持って4歩以上歩く。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	
	(c)	パッシブプレー	パッシブプレー もよい。	
	(2)	ディフェンスに隠れてうつシュート	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	4
	(3)	スローイン		4
5	コート図			5 3
	スペイク	強打のクロススペイクを打つ。		
	コート図		2つ書かれていればよい。 コート図とスペイクが対応しているものだけを正答とする。 問い合わせを正しく捉えていれば、内容は異なっていてもよい。	1 6
	スペイク	軟打のストレートスペイクを打つ。		
2	コート図			
	スペイク	ブロックアウトをとるため、強打のストレートスペイクを打つ。		

中学校保健体育科採点基準

5枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
5 2	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスは1回1本。 ・ブロックによる触球は回数に數えず、その後3回プレーできる。 ・同一チームの2人が同時にボールに触れたとき、2回ボールに触れたこととなり、その2人は連續してボールに触れることができない。 ・チーム第1球目の触球は1つの動作中であれば、体の2か所以上に連續して触れてもよい。 ・返球ボールがネットに触れた場合、ネットにかけたプレーヤーが続けてプレーしてはいけない。 ・ボールがネットに触れた場合でも、そのボールへの触球も含めて3回までの触球で返球しなければならない。 ・ブロックの場合に限り、相手コート内にあるボールにネットを越えて触れてもよい。 ・サービスしたボールは、ネット上を通過するときネットに触れてもよい。 ・バックプレーヤーは、ブロックに参加してはいけない。 ・センターラインを越えて相手コートに侵入してはいけない。 ・バックプレーヤーが、フロントゾーン内でネット上端よりも完全に高い位置にあるボールをヒットしてアタックヒットを行ってはいけない。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各4×2
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール全体がネット上端より高い位置にあるときに、リベロプレーヤーがアタックヒットを行ったとき。 ・リベロプレーヤーが、サービスを行ったとき。 ・リベロプレーヤーが、ブロック、またはブロックの試みを行ったとき。 ・リベロプレーヤーが、自チームのフロントゾーン内で指を使ったオーバーハンドパスで上げたボールがネット上端より完全に高い位置にあるときに、他の選手がアタックヒットを行ったとき。 	3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各4×3

中学校保健体育科採点基準

5枚のうち5

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点								
	1 払い面		すり上げ面 もよい。	4								
6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・禁止薬物を使用または保持する。 ・審判員または相手に対し、非礼な言動をする。 ・定められた以外の用具（不正用具）を使用する。 ・相手に足を掛けまたは払う。 ・相手を不当に場外に出す。 ・試合中に場外に出る。 ・自分の竹刀を落とす。 ・不当な中止要請をする。 ・相手に手をかけまたは抱え込む。 ・相手の竹刀を握るまたは自分の竹刀の刃部を握る。 ・相手の竹刀を抱える。 ・相手の肩に故意に竹刀をかける。 ・倒れたとき、相手の攻撃に対応することなく、うつ伏せなどになる。 ・故意に時間の空費をする。 ・不当なつば（鎧）競り合いおよび打突をする。 	3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各4×3 28								
	3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">図1</td><td style="padding: 2px;">引き分けのとき</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">図2</td><td style="padding: 2px;">中止のとき</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">図3</td><td style="padding: 2px;">分かれのとき</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">図4</td><td style="padding: 2px;">反則のとき</td></tr> </table>	図1	引き分けのとき	図2	中止のとき	図3	分かれのとき	図4	反則のとき	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各3×4
図1	引き分けのとき											
図2	中止のとき											
図3	分かれのとき											
図4	反則のとき											
7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーのある人 ・過去にひどい副作用を経験したことがある人 ・医師の治療を受けている人 ・肝臓や腎臓など、薬の成分を代謝・排泄する臓器に疾患のある人 ・他にも薬を飲んでいる人 ・妊娠の可能性がある女性、妊娠している女性、授乳中の女性 ・高齢者 ・高いところで作業をする人 ・乗り物・機械類の運転操作をする人 	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	各4×2 16								
	2	要指導医薬品は、薬剤師から対面での情報提供や指導を受けなければ購入できず、インターネットでの購入もできないのにに対し、一般用医薬品は、症状などを自分で判断して薬局などで購入でき、インターネットでの購入もできる。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてもよい。	8								